

ミニバスケットボール競技規則外の運用に関するガイドライン

1. ミニバスケットボール競技規則外の運用

■ 検討に至る経緯

- ・現状、特に 6 年生を中心とした育成センターや一部競技会等で、既にミニバスケットボール競技規則と異なるルールを採用している地域が散見される。
- ・都道府県より改めて採用の可否についての質問が寄せられたことから、統一した運用に向け、JBA U12 カテゴリー部会競技推進グループにて検討を行った。

■ 挿入できる項目と規則

- ・**都道府県内で実施される育成センター事業等**においては、ミニバスケットボール競技規則の次の項目について、**U12 世代プレイヤーの技術向上を目的**として、都道府県の実態に応じ、**実施要項等の定め**により導入することができる。

項目	ミニバスケットボール競技規則	導入することができる規則
リングの高さ	260cm	305cm
ボールの大きさ	5 号球	6 号球
3 ポイントライン	規定なし	6.75m

【補足】

- ※低年齢層や未経験者が参加する、普及を主目的とした競技会やイベント等においては、実態に応じてリングの高さを下げる、小さなボールを使用する、得点の設定を変更するなど、導入する規則を変更して実施してよい。

2. ミニバスケットボール競技規則外の運用をする際の対応

- (1) **全国ミニバスケットボール大会**および**ブロック大会**、ならびに**都道府県予選**においては、**ミニバスケットボール競技規則に基づいて実施することとし、ミニバスケットボール競技規則外の運用は行わない。**
 - ミニバスケットボール競技規則外の運用ができる事業は、**都道府県内で完結する競技会、および都道府県または地区の育成センター事業**とする。
- (2) ミニバスケットボール競技規則外の運用を実施するにあたっては、**都道府県協会の承認**を得た上で、導入内容を**大会要項等に明記**し、事前に十分な周知を図り、競技会等に参加する**競技者や関係者に混乱のないよう十分配慮**する。
 - 都道府県協会専務理事の了承や理事会の承認をもって実施**する。実施する事業については、**実施を予定する前年度までにあらかじめ決定**し、周知することが望ましい。
- (3) ミニバスケットボール競技規則外の運用に伴って、**練習環境等の対応ができない場合**も考慮し、導入および運用に十分配慮すること。
 - 参加チームの練習環境等を鑑み、**普及的な観点から、競技会にミニバスケットボール競技規則外の運用を実施しないクラスを設定するなどの配慮**を行う。

(4) 上記の運用は、主に **5年生および6年生を対象とした、都道府県内で完結**する事業について実施することができる。

➤ **普及的な観点から、一律に実施することではなく、対象事業を絞って実施する。**

3. ミニバスケットボール競技規則外の運用に関するガイドライン

(1) 事業の運営について

- ・既存の一般用コートラインを使うことで準備の手間を省くことなどにより、**運営上の負担を軽減**する。
- ・競技会において実施する際は、**少なくとも同一のクラスでは、同一の競技規則の下で実施できる**ようにする。(年齢や学年、地区による区分など)

(2) 運用の検証について

- ・ミニバスケットボール競技規則外の運用を実施した都道府県協会においては、後日、**導入に関する検証**を実施するため、意見集約に協力いただきたい。
- ・検証は、**運営面や競技面、登録推進**の観点や **U15 カテゴリーへの接続**の影響などについて行う。(詳細は別途連絡)
- ・実施された事例に基づいて検証し、将来的に本格的な導入の有無を含めた検討を行う。

(3) リングの高さについて

- ・実施する際は **305cm** とし、**その他の高さによる運用は行わない**。
- ・ただし、低学年児童や未経験者を対象とした事業については、260cm 以下にする際の高さは実態に応じて工夫してよい。

(4) ボールの大きさについて

- ・U15 男子は7号球を使用するが、競技規則外の運用を実施する場合は、急激な変化を避けることと、個々のプレイヤーの発達段階に差があることから、**6号球で実施することで統一**する。
- ・低学年児童や未経験者を対象とした事業については、バスケットボール以外の競技で使用するボールの使用を含めて、柔軟に対応してよいこととする。

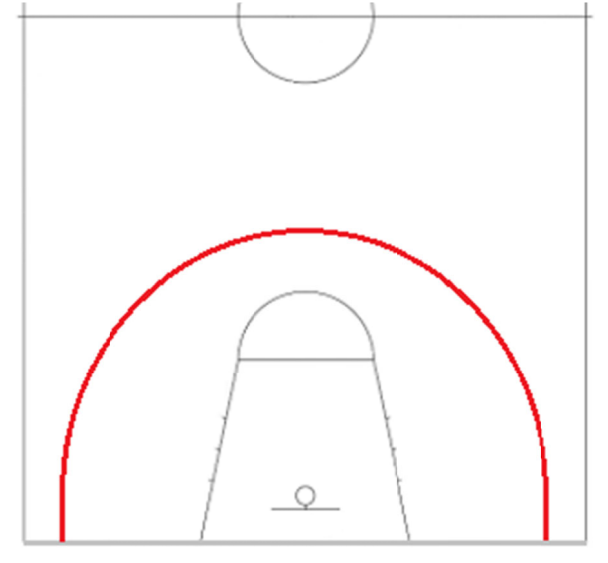
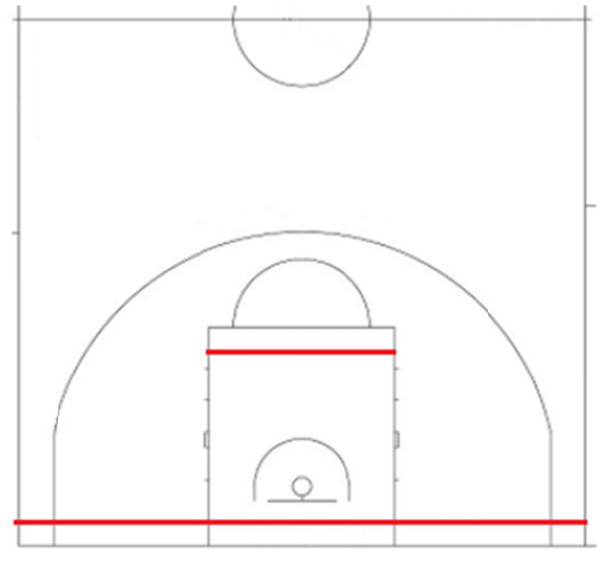
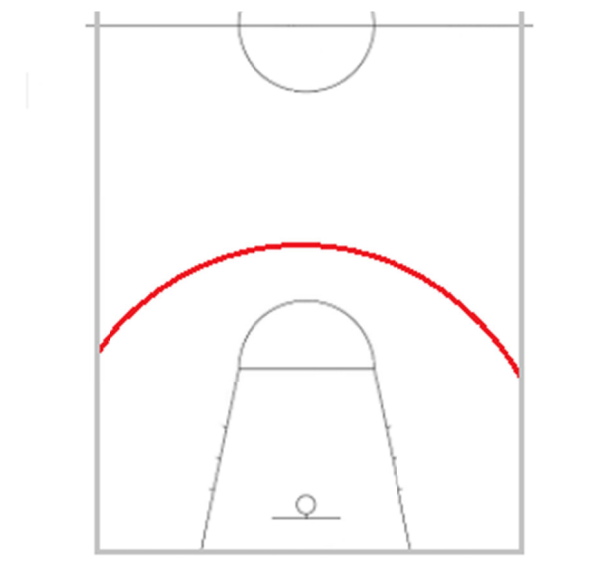
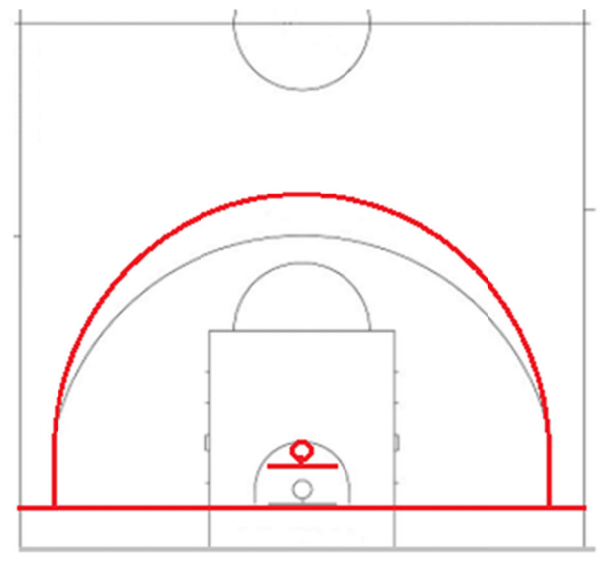
(5) 3ポイントラインについて

- ・競技規則外の運用を実施する場合は **6.75m** で実施し、**全国で同一の条件で実施**して検証する。
3ポイントラインを **6.75m 以外で引くことはしない**。
- ・新たに3ポイントラインを引く場合、幅が狭いコートでは、サイドラインにかかる場所は、**3ポイントラインとサイドラインが交わったところ**までとする。
- ・その他、リングの位置やコートデザインによる3ポイントラインの設定の仕方については、次頁の図を参照すること。

<3ポイントラインの運用に関しての留意点>

- ・5・6年生であれば、十分に届く選手が多いと推定するが、無理なフォームにならないよう、プレイヤーの**発達段階に応じた適切な指導**が行われるよう周知すること。
- ・シュートフォームについては、シューティングプロジェクト等で正しいメカニズムを伝えているが、今後も指導者に正しい考え方を周知・浸透させ、引き続き**ワンハンドショットを推進**する。

3 ポイントラインの引き方（例）

【現行ミニコートに追加】	【リング位置が固定された一般用コート】
	
<p>現行ミニコートに追加する場合は、リングの中心から半径 6.75m の円を描く</p>	<p>リングの位置が固定されている場合は、エンドラインとフリースローラインを引き直す。</p>
【幅の狭いコートに追加】	【移動式リングの一般用コート】
	
<p>幅の狭いコートに追加する場合は、リングの中心から半径 6.75m の円を、サイドラインと交差するところまで描く。</p>	<p>移動式のリングを使用する場合は、エンドラインと 3 ポイントラインを描く。</p>